

(前頁より)

第2日 11月27日(日)(7時間)

8:20 受付

8:30~9:30 医学用語(筋・骨格2)

9:30~12:40 書類作成

12:40~13:30 昼食

13:30~14:30 薬学・薬事法

14:30~16:30 医学用語(消化器)

※ほかに放射線科業務、検査科業務、リハビリテーション科業務、栄養科業務に関するレポート作成・提出(4時間分)があります。

## 〈募集要項〉

- 対象 高等学校卒業以上の学歴を有するもの  
(4日間全課程への参加を原則とします)
- 会費 4日間全課程一括 40,000円  
(但し、非学会員 50,000円)
- 定員 150名(定員を満たし次第締め切らせて頂きます)
- 受付期間 2011年9月5日(月)~10月7日(金)
- 問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

**2011年度第1回医療安全分科会**

テーマ：注目すべき医療安全対策—評価と効果

今年の医療安全分科会では、「評価」と「効果」をキーワードに、注目すべき医療安全対策を紹介します。

1日目は、医療安全の「評価」について皆様と考えてみたいと思います。国をあげての医療安全対策が始まって10年あまりが経過しました。医療機関ではさまざまな医療安全活動が定着してきましたが、それが本当に効果のあるものか、いま評価が求められています。

まず最初に、厚生労働省から「医療安全対策の評価と最新の動向」というテーマでお話いただいたあと、医療安全の実際の評価方法として、2つの病院から自施設で導入している評価方法や外部の評価システムを紹介していただきます。日本医療機能評価機構の審査項目にも医療安全に関する項目はありますが、国際的な評価機関であるJCI (Joint Commission International) から日本で2番目に認証された病院の報告として、注目できます。

2日目は、医療安全対策の「実践」報告です。ひとつは、リハビリ専門病院から、リハビリの専門知識を活かした転倒予防の効果的な実践プログラムを紹介します。もうひとつは、院長の指揮で安全文化の醸成を職員全員で築いている事例として、「ヒヤリ・ハット劇場」を紹介します。

10年をひとつの区切りとして医療安全を俯瞰すると、体制評価からプロセス評価へ、さらに成果の評価へと変化し

ているように感じています。まだまだ医療安全は道半ばではありますが、その中でも目立って変化している動きがあります。それは全員での対応という方法です。

この医療安全分科会は多職種で考えていくことが特徴です。多くの方々が同じ病院のスタッフのような気持ちで考え、答えを探していただけることを願っています。

・日時 2011年10月29日(土)12:00~10月30日(日)16:30  
・会場 公益社団法人日本看護協会 地下2階JNAホール  
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2)

## ・プログラム

第1日目 10月29日(土) テーマ：「評価」

12:00 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10~13:50 基調講演

「医療安全対策の評価と最新の動向(仮題)」

厚生労働省

14:00~15:30 講演・演習

「病院医療安全管理水準のモニタリング方法」

東北大学大学院経済学研究科経済経営学専攻

医療福祉講座医療福祉システム分野教授 関田康慶

15:40~17:00 講演

「JCI (Joint Commission International) 認証からみえてきた医療安全」

NTT東日本関東病院副看護部長 本間 みね子

第2日目 10月30日(日) テーマ：「効果」

9:00~10:20 講演

「転倒・転落を含む医療事故に関する事例報告」

公益社団法人日本看護協会常任理事 松月みどり

10:30~12:00 講演「転倒予防の知識と実践」

東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション科  
大高洋平

12:00~13:00 昼食

13:00~16:30

「事故防止に効果を発揮するヒヤリ・ハット劇場」

佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院院長  
奥澤 星二郎

16:30 閉会

## 〈募集要項〉

- 会費 10,000円(但し、非学会員 15,000円)
- 定員 100名(定員を満たし次第締め切らせて頂きます)
- 受付期間 2011年9月5日(月)~10月7日(金)
- 問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局